

1人世帯の増加続く

～ 平成26年 住民基本台帳に基づく日本人人口～

今号の特集では、福岡市における平成26年9月末現在の住民基本台帳に基づく日本人の人口及び平成26年の人口動態の状況をご紹介します。「住民基本台帳に基づく人口」とは、福岡市に住民登録をしている人を集計したものです。

1世帯あたり人員は2.04人で、前年比0.01人の減少となりました。人口・世帯数ともに増加傾向にあります。世帯数の伸びが人口の伸びを上回っているため、1世帯あたり人員は減少が続き、世帯規模の縮小が続いています。(表1、図1)

1. 住民基本台帳に基づく人口

(1) 概要

1世帯あたり世帯人員2.04人

世帯規模の縮小続く

住民基本台帳に基づく平成26年9月末現在の福岡市の人口は1,456,323人で前年(平成25年9月末現在)に比べ11,540人増加し、増加率は0.8%となっています。世帯数は715,395世帯で、前年に比べ9,941世帯増加し、増加率は1.4%となりました。

性別に見ると、男性は690,069人で、前年と比べて5,087人増加し(対前年増加率0.7%)、女性は766,254人となり、前年と比べて6,453人の増加(同0.8%)となっています。女性を100としたときの男性の割合を示す「性比」は90.1となりました。

(2) 行政区別人口

人口、世帯数ともに全区で増加

行政区別に見ると、人口、世帯数ともに全ての区で増加しています。人口は東区の288,583人が最も多く、次いで南区、早良区の順になっています。世帯数は、東区の

図1 人口及び1世帯あたり人員の推移

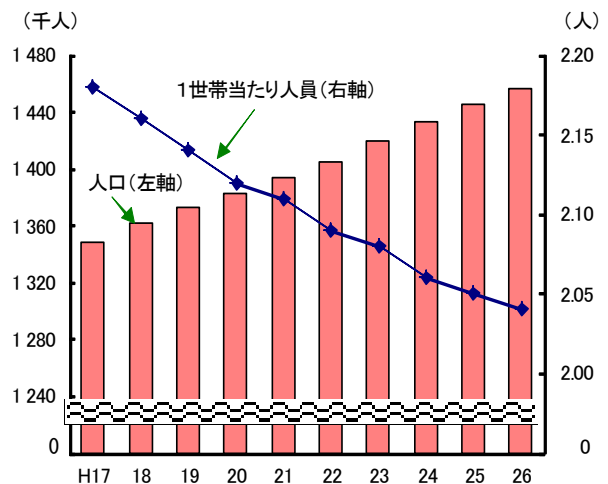


表1 世帯数、人口等の推移

各年9月末現在

年	世帯数	人口			性比	1世帯あたり人員	対前年増減			
		男	女	性比			世帯数	率	人口	率
平成17年	618 034	1 347 823	642 842	704 981	91.2	2.18	9 524	1.6	10 247	0.8
18年	630 866	1 361 060	648 387	712 673	91.0	2.16	12 832	2.1	13 237	1.0
19年	642 514	1 372 840	652 935	719 905	90.7	2.14	11 648	1.8	11 780	0.9
20年	652 282	1 382 563	656 798	725 765	90.5	2.12	9 768	1.5	9 723	0.7
21年	662 040	1 394 017	662 176	731 841	90.5	2.11	9 758	1.5	11 454	0.8
22年	671 525	1 404 525	667 402	737 123	90.5	2.09	9 485	1.4	10 508	0.8
23年	683 885	1 419 311	674 197	745 114	90.5	2.08	12 360	1.8	14 786	1.1
24年	694 512	1 432 532	679 533	752 999	90.2	2.06	10 627	1.6	13 221	0.9
25年	705 454	1 444 783	684 982	759 801	90.2	2.05	10 942	1.6	12 251	0.9
平成26年	715 395	1 456 323	690 069	766 254	90.1	2.04	9 941	1.4	11 540	0.8

135,013世帯が最も多く、以下、博多区、南区と続いており、人口、世帯数ともに最も少ないのは城南区となっています。

人口増加数は、博多区の3,098人が最も多く、以下、中央区の2,145人、西区の2,097人となっています。

世帯増加数も、博多区が2,462世帯と最も多く、東区が1,709世帯で続いています。

性比を見ると、東区と博多区が94.6と最も高く、次いで西区の91.3で、他の区と比べて男性の割合が多くなっています。最も低い中央区(79.0)、続く南区(88.6)は他の区と比べて女性の割合が多いことがわかります。

1世帯当たり人員を見ると、最も多いのは西区の2.30人で、以下、早良区、東区の順になっており、都心部に位置する中央区(1.73人)と博多区(1.74人)は、福岡市全体の2.04人を下回っています。全ての区にお

いて世帯数の伸び率が人口の伸び率を上回っており、世帯規模の縮小は全区的なものとなっています。(表2)

(3) 年齢別人口

老年人口割合の上昇が続く

年齢区分別の構成比を見ると、福岡市全体の15歳未満の「年少人口」の割合は13.9%となり、前年同比となりました。15～64歳の「生産年齢人口」の割合は66.2%で、前年と比べ0.8ポイント低下し、65歳以上の「老年人口」の割合は19.8%で、前年と比べて0.8ポイント上昇しました。割合の推移を見ると、年少人口の割合は横ばい状態となっており、生産年齢人口の割合は低下、老年人口の割合は上昇を続けています。

行政区別に見ると、年少人口の割合が福岡市全体の割合(13.9%)より高いのは、西区、早良区、東区及び南区で、生産年齢人口の割

表2 行政区別世帯数及び人口

各年9月末現在

区	平成25年		平成26年					対前年増減				
	世帯数	人口	世帯数	人口	性比		1世帯当たり人員	世帯数	率	人口	率	
					男	女						
福岡市	705 454	1 444 783	715 395	1 456 323	690 069	766 254	90.1	2.04	9 941	1.4	11 540	0.8
東区	133 304	286 578	135 013	288 583	140 287	148 296	94.6	2.14	1 709	1.3	2 005	0.7
博多区	117 458	205 534	119 920	208 632	101 433	107 199	94.6	1.74	2 462	2.1	3 098	1.5
中央区	99 595	172 998	101 303	175 143	77 317	97 826	79.0	1.73	1 708	1.7	2 145	1.2
南区	117 495	248 830	118 545	249 270	117 107	132 163	88.6	2.10	1 050	0.9	440	0.2
城南区	57 623	121 588	58 278	122 228	57 883	64 345	90.0	2.10	655	1.1	640	0.5
早良区	94 935	212 405	95 705	213 520	101 100	112 420	89.9	2.23	770	0.8	1 115	0.5
西区	85 044	196 850	86 631	198 947	94 942	104 005	91.3	2.30	1 587	1.9	2 097	1.1

表3 行政区別年齢3区分別人口

各年9月末現在

	人口総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	年齢別割合				老年化指数	
					うち75歳以上		15歳未満	15～64歳		65歳以上
					人	人	%	%		%
平成22年	1 404 525	196 457	962 620	245 448	114 703	14.0	68.5	17.5	8.2	124.9
23年	1 419 311	198 694	970 383	250 234	119 746	14.0	68.4	17.6	8.4	125.9
24年	1 432 532	200 197	969 907	262 428	124 749	14.0	67.7	18.3	8.7	131.1
25年	1 444 783	201 272	968 414	275 097	128 735	13.9	67.0	19.0	8.9	136.7
平成26年	1 456 323	202 953	964 407	288 963	132 589	13.9	66.2	19.8	9.1	142.4
東区	288 583	42 899	187 979	57 705	26 177	14.9	65.1	20.0	9.1	134.5
博多区	208 632	24 498	147 341	36 793	16 678	11.7	70.6	17.6	8.0	150.2
中央区	175 143	19 610	124 731	30 802	14 300	11.2	71.2	17.6	8.2	157.1
南区	249 270	34 931	162 442	51 897	24 182	14.0	65.2	20.8	9.7	148.6
城南区	122 228	16 906	78 905	26 417	12 261	13.8	64.6	21.6	10.0	156.3
早良区	213 520	32 683	136 801	44 036	19 897	15.3	64.1	20.6	9.3	134.7
西区	198 947	31 426	126 208	41 313	19 094	15.8	63.4	20.8	9.6	131.5

合が福岡市全体の割合(66.2%)より高いのは中央区と博多区、老年人口の割合が福岡市全体の割合(19.8%)より高いのは、城南区、南区、西区、早良区及び東区となっています。

年少人口に対する老年人口の割合を示す「老年化指数」は、中央区、城南区、博多区、及び南区で、福岡市全体の指数(142.4)を上回りました。(表3)

(4) 世帯員数別世帯数

1人世帯の増加 続く

世帯員数別世帯数の構成比を見ると、1人世帯が47.0%で前年比0.3ポイントの増加、2人世帯は前年比0.1ポイント増の23.2%となりました。3人世帯は14.4%で前年比0.2ポイントの減少、4人以上の世帯は15.4%で前年比0.2ポイントの減少となりました。

行政区別に見ると、全ての区で1人世帯の割合が最も高くなっており、特に博多区と中央区は、約6割が1人世帯となっています。

(表4、図2)

(5) 小学校区別人口

人口増加数 玄洋校区が最も多い

小学校通学区域別に見ると、人口が最も多いのは平尾校区(中央区)の22,474人で、以下、舞鶴校区(中央区)、博多校区(博多区)と続い

ています。人口が最も少ないのは曲渕校区(早良区)の163人で、次いで小呂校区(西区)、勝馬校区(東区)となっています。

前年と比べた人口増加数は、玄洋校区(西区)の1,045人増が最も多く、以下、平尾校区の694人増、東吉塚校区(博多区)の635人増となり、人口増加率は、照葉校区(東区)の10.9%、香陵校区(東区)の9.1%、玄洋校区の8.0%の順になっています。一方、人口減少数は、城浜校区(東区)の159人減、東箱崎校区(東区)の139人減、美和台校区(東区)の134人減の順に多くなっています。(表5)

図2 世帯員数別世帯数の割合

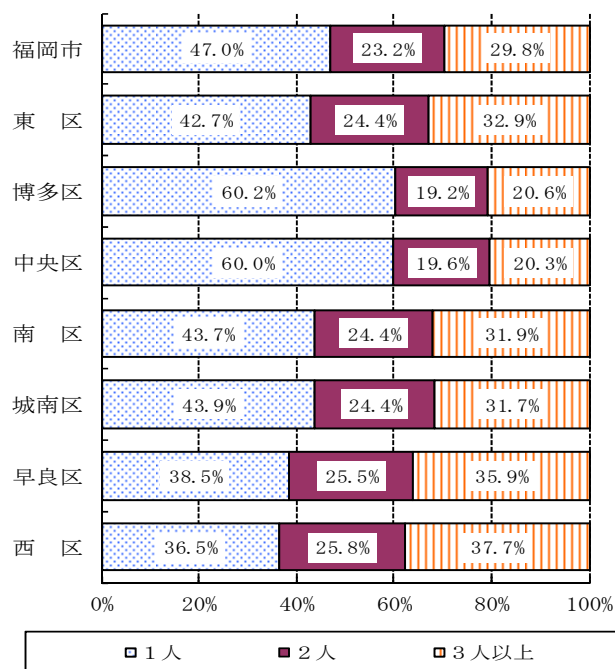


表4 行政区別世帯員数別世帯数

各年9月末現在

	総数	世帯数				構成比			
		1人	2人	3人	4人以上	1人	2人	3人	4人以上
	世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	%	%	%	%
平成22年	671 525	303 284	154 533	101 752	111 956	45.2	23.0	15.2	16.7
23年	683 885	312 138	157 685	102 681	111 381	45.6	23.1	15.0	16.3
24年	694 512	320 661	160 267	102 725	110 859	46.2	23.1	14.8	16.0
25年	705 454	329 123	162 981	103 214	110 136	46.7	23.1	14.6	15.6
平成26年	715 395	336 555	165 791	103 223	109 826	47.0	23.2	14.4	15.4
東区	135 013	57 710	32 910	20 899	23 494	42.7	24.4	15.5	17.4
博多区	119 920	72 132	23 069	12 875	11 844	60.2	19.2	10.7	9.9
中央区	101 303	60 824	19 902	11 006	9 571	60.0	19.6	10.9	9.4
南区	118 545	51 824	28 886	18 347	19 488	43.7	24.4	15.5	16.4
城南区	58 278	25 582	14 224	8 859	9 613	43.9	24.4	15.2	16.5
早良区	95 705	36 889	24 447	16 202	18 167	38.5	25.5	16.9	19.0
西区	86 631	31 594	22 353	15 035	17 649	36.5	25.8	17.4	20.4

表5 小学校区別世帯数及び人口

平成26年9月末現在

区・小学校区名	世帯数	人口	区・小学校区名	世帯数	人口	区・小学校区名	世帯数	人口
福岡市合計	715 395	1 456 323	高宮	8 129	12 083	賀茂	4 745	10 113
			赤坂	6 356	11 290	有田	4 743	10 820
東区	135 013	288 583	南当仁	8 995	16 817	野芥	5 167	11 633
馬出	6 431	10 500	笹丘	5 857	12 067	大原	4 054	8 439
筥松	7 600	13 583	舞鶴	13 979	20 728	四箇田	3 463	7 913
箱崎	7 749	13 452	小笹	6 314	14 590	飯原	2 946	6 850
香椎	5 271	10 689	福浜	2 731	5 225	有住	2 478	4 788
多々良	6 651	13 674	鳥飼 *	344	701	田村	4 310	10 002
名島	6 907	15 831				飯倉中央	2 419	5 522
香住丘	8 564	17 438	南区	118 545	249 270	小田部	3 596	9 430
和白	5 026	11 268	三宅	8 213	16 305	百道浜	3 235	8 095
千早	4 597	10 428	花畑	3 991	9 211	脇山	1 054	2 502
城浜	2 182	3 564	玉川	8 815	15 680	内野	2 831	6 610
若宮	4 602	9 793	西高宮	8 178	17 369	曲渕	75	163
勝馬	105	253	日佐	2 948	6 822	入部	3 248	7 777
志賀島	728	1 555	宮竹 *	6 498	12 369	早良	1 606	3 759
西戸崎	2 718	6 048	大楠	6 692	10 070			
美和台	6 644	15 560	若久	5 163	11 345	西区	86 631	198 947
八田	3 162	7 343	老司	3 725	8 530	姪浜	6 676	14 600
和白東	5 394	12 060	長住	3 665	8 382	壱岐	6 530	16 402
舞松原	4 249	9 986	筑紫丘	4 082	8 583	能古	338	707
香椎東	5 831	13 860	西花畑	5 125	11 915	内浜	7 266	14 570
青葉	4 733	12 236	弥永	3 158	6 462	金武	2 141	6 212
奈多	4 063	9 178	東花畑	4 199	9 235	下山門	4 056	9 479
香椎浜	2 519	5 327	長丘	4 286	10 706	壱岐南	4 348	10 423
香椎下原	6 463	13 371	西長住 *	1 708	3 696	西陵	2 647	5 414
千早西	3 050	6 823	弥永西	3 656	8 347	壱岐東	2 172	4 390
東箱崎	3 433	6 951	東若久	3 375	7 668	石丸	4 822	11 358
香陵	1 884	4 892	鶴田	3 076	7 273	愛宕	5 873	12 586
松島	8 702	17 777	野多目	4 838	11 572	福重	3 671	8 060
三苫	3 864	9 358	高木	4 787	9 011	城原	3 375	7 829
照葉	1 891	5 785	大池	3 838	8 477	愛宕浜	2 597	7 018
			塩原	6 939	12 866	姪北	5 187	10 244
博多区	119 920	208 632	柏原	3 795	9 467	今宿	5 601	13 205
博多	14 036	20 338	横手	3 795	7 909	今津	1 390	2 997
住吉	12 404	18 448				周船寺	6 166	14 385
堅粕	7 187	10 130	城南区	58 278	122 228	元岡	4 683	11 686
千代	7 012	9 908	西長住 *	848	1 964	北崎	913	2 506
吉塚	5 718	10 027	長尾	6 148	12 951	玄界	225	508
東住吉	6 786	9 102	鳥飼 *	4 431	9 856	小呂	69	202
席田	3 025	6 430	別府	7 959	15 998	玄洋	5 885	14 166
月隈	4 145	8 712	七隈	6 384	12 848			
春住	6 148	9 804	堤	4 490	10 155	複数区にまたがる小学校区の合算		
板付	7 239	15 086	城南	6 552	14 253	宮竹【合算】	8 209	16 193
那珂	10 051	20 083	金山	3 846	7 235	西長住【合算】	2 556	5 660
那珂南	7 306	13 263	片江	5 963	11 832	鳥飼【合算】	4 775	10 557
東光	5 069	8 014	南片江	3 996	8 984			
東吉塚	6 392	11 558	田島	4 815	10 415			
板付北	3 387	7 215	堤丘	2 846	5 737			
東月隈	3 676	8 339						
三筑	5 909	12 244	早良区	95 705	213 520			
弥生	2 719	6 107	西新	8 074	16 346			
宮竹 *	1 711	3 824	原	4 762	10 710			
			高取	7 970	16 313			
中央区	101 303	175 143	百道	3 364	7 492			
当仁	8 054	14 664	田隈	3 622	7 774			
警固	10 689	17 320	室見	5 216	11 566			
春吉	9 319	12 113	原西	4 996	11 199			
草ヶ江	7 993	15 071	原北	3 197	7 886			
平尾	12 543	22 474	飯倉	4 534	9 818			

※ 本表及び次ページ以降の統計表は、福岡市教育委員会が公表している「市立小中学校の通学区域」に基づいて、住民基本台帳に登録された人の住所地を各小学校区に振り分け、集計したものです。

※ 小学校名欄に「*」印を付した学校は、校区が複数行政区にまたがっているため、小学校区単位の数値は本表末尾に合算した値を示しています。

2. 人口動態

(1) 自然動態

自然増加 続く

平成26年(1～12月)の自然動態(出生と死亡の数)は、出生数14,576人、出生率(人口1,000人当たりの出生数)は10.01‰(パーミル)、死亡数は10,986人、死亡率(同死亡数)は7.54‰で、自然増加数は両者の差の3,590人、自然増加率(同自然増加数)は、2.47‰となりました。

平成25年と比較すると、出生数は前年と比べ155人減少(前年比1.1%減)、死亡数は前年と比べて132人増加(前年比1.2%増)しました。自然増加数は、前年比287人の減少

(前年比7.4%減)となりました。

行政区別に見ると、出生率は博多区の11.01‰が最も高く、次いで東区、西区の順になっています。死亡率は南区の8.09‰が最も高く、以下、西区、東区が続いています。自然増加率が最も高いのは、博多区の3.68‰で、最も低いのは城南区の1.73‰でした。

(表6、表7、図3)

(2) 社会動態(市外移動)

転入超過 続く

平成26年の社会動態(市外との転出入の数)は、転入者数が70,889人で転入率(人口

表6 出生・死亡・自然増加数の推移

	出生数	死亡数	自然増加	
			実数	率
	人	人	人	‰
H17	12 542	8 762	3 780	2.80
18	13 255	8 915	4 340	3.19
19	13 921	9 104	4 817	3.51
20	13 977	9 654	4 323	3.13
21	14 207	9 341	4 866	3.49
22	14 506	10 158	4 348	3.10
23	14 385	10 459	3 926	2.77
24	14 479	10 703	3 776	2.64
25	14 731	10 854	3 877	2.68
26	14 576	10 986	3 590	2.47

図3 出生・死亡・自然増加数の推移

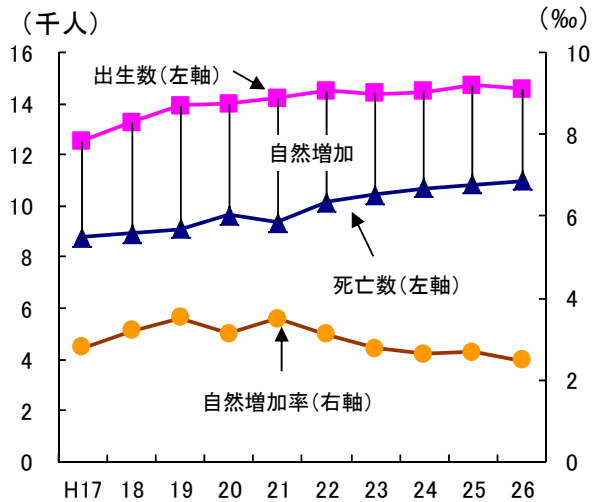


表7 自然動態

市区	平成25年			平成26年					
	自然増加数	出生数	死亡数	自然増加数	前年比	出生数	前年比	死亡数	前年比
	人, ‰	人, ‰	人, ‰	人, ‰	%	人, ‰	%	人, ‰	%
福岡市	3 877 (2.68)	14 731 (10.20)	10 854 (7.51)	3 590 (2.47)	△ 7.4	14 576 (10.01)	△ 1.1	10 986 (7.54)	1.2
東区	766 (2.67)	2 995 (10.45)	2 229 (7.78)	723 (2.51)	△ 5.6	2 969 (10.29)	△ 0.9	2 246 (7.78)	0.8
博多区	785 (3.82)	2 306 (11.22)	1 521 (7.40)	767 (3.68)	△ 2.3	2 297 (11.01)	△ 0.4	1 530 (7.33)	0.6
中央区	592 (3.42)	1 689 (9.76)	1 097 (6.34)	533 (3.04)	△ 10.0	1 669 (9.53)	△ 1.2	1 136 (6.49)	3.6
南区	493 (1.98)	2 453 (9.86)	1 960 (7.88)	480 (1.93)	△ 2.6	2 497 (10.02)	1.8	2 017 (8.09)	2.9
城南区	215 (1.77)	1 169 (9.61)	954 (7.85)	211 (1.73)	△ 1.9	1 124 (9.20)	△ 3.8	913 (7.47)	△ 4.3
早良区	442 (2.08)	2 030 (9.56)	1 588 (7.48)	430 (2.01)	△ 2.7	2 016 (9.44)	△ 0.7	1 586 (7.43)	△ 0.1
西区	584 (2.97)	2 089 (10.61)	1 505 (7.65)	446 (2.24)	△ 23.6	2 004 (10.07)	△ 4.1	1 558 (7.83)	3.5

注) ()内は、各年9月末現在の人口1,000人当たりの自然増加数、出生数、死亡数。

1,000人当たりの転入者数)48.68%, 転出者数が64,072人で転出率(同転出者数)44.00%, 両者の差である社会増加数は6,817人で、社会増加率(同社会増加数)は4.68%となっています。

平成25年と比較すると、転入者数は1,757人減少、転出者数は635人減少し、社会増加数は1,122人減少となりましたが、平成8年以降転入超過の状態が続いています。

行政区別に見ると、転入者数が最も多いのは博多区の15,256人で、次いで東区、中央区となっています。転出者数は博多区の13,013

人が最も多く、以下、東区、中央区となっており、社会増加数は博多区の2,243人が最も多くなりました。(表8, 表9)

各区の人口動態の構成を見ると、博多区と中央区は、社会増加数の割合が高いことが分かります。(図4)

福岡市の人口の詳細は【福岡市の統計情報ホームページ】をご覧ください。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/tokeichosa/shisei/toukei/index.html>

表8 転入・転出・社会増加数の推移

	転入者数	転出者数	社会増加	
			実数	率
	人	人	人	%
H17	76 455	69 968	6 487	4.81
18	78 190	70 537	7 653	5.62
19	77 277	71 363	5 914	4.31
20	74 425	69 378	5 047	3.65
21	72 862	67 795	5 067	3.63
22	70 727	65 528	5 199	3.70
23	74 252	63 513	10 739	7.57
24	73 677	64 789	8 888	6.20
25	72 646	64 707	7 939	5.49
26	70 889	64 072	6 817	4.68

図4 人口動態の構成

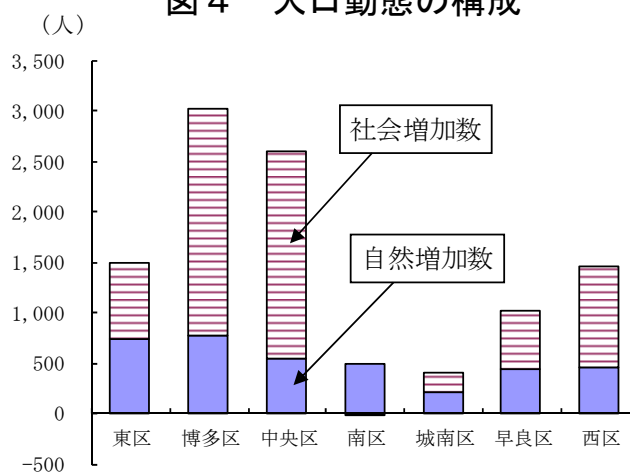


表9 社会動態

市区	平成25年			平成26年					
	社会増加数	転入者数	転出者数	社会増加数	前年比	転入者数	前年比	転出者数	前年比
福岡市	7 939 (5.49)	72 646 (50.28)	64 707 (44.79)	6 817 (4.68)	△ 14.1	70 889 (48.68)	△ 2.4	64 072 (44.00)	△ 1.0
東区	804 (2.81)	13 211 (46.10)	12 407 (43.29)	769 (2.66)	△ 4.4	12 990 (45.01)	△ 1.7	12 221 (42.35)	△ 1.5
博多区	2 302 (11.20)	15 288 (74.38)	12 986 (63.18)	2 243 (10.75)	△ 2.6	15 256 (73.12)	△ 0.2	13 013 (62.37)	0.2
中央区	2 382 (13.77)	12 499 (72.25)	10 117 (58.48)	2 054 (11.73)	△ 13.8	12 289 (70.17)	△ 1.7	10 235 (58.44)	1.2
南区	507 (2.04)	10 199 (40.99)	9 692 (38.95)	△ 23 (△0.09)	△ 104.5	9 773 (39.21)	△ 4.2	9 796 (39.30)	1.1
城南区	160 (1.32)	4 505 (37.05)	4 345 (35.74)	190 (1.55)	18.8	4 272 (34.95)	△ 5.2	4 082 (33.40)	△ 6.1
早良区	541 (2.55)	8 444 (39.75)	7 903 (37.21)	584 (2.74)	7.9	8 223 (38.51)	△ 2.6	7 639 (35.78)	△ 3.3
西区	1 243 (6.31)	8 500 (43.18)	7 257 (36.87)	1 000 (5.03)	△ 19.5	8 086 (40.64)	△ 4.9	7 086 (35.62)	△ 2.4

注) ()内は、各年9月末現在の人口1,000人当たりの社会増加数、転入者数、転出者数。